

# 公の施設の指定管理者における業務状況評価

令和8年1月19日

施設名	美術館	所管課	文化生活部文化振興課
-----	-----	-----	------------

## 1 施設の概要

指定管理者名	(公財)高知県文化財団	指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日
施設所在地	高知市高須353番地2		
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美術品及び美術に関する資料の収集、保管及び展示</li> <li>・美術に関する専門的な調査研究</li> <li>・美術に関する講演会、講習会、研究会等の教育普及活動</li> <li>・美術品等の展示のための県民ギャラリーの提供</li> <li>・音楽、演劇等の鑑賞のためのホールの提供</li> <li>・上記のほか、美術館の設置の目的を達成するために必要な業務</li> </ul>		
施設内容	<p>〈建物〉 延べ床面積:11,723㎡ 鉄骨鉄筋コンクリート造地上3階建                  〈土地〉 15,912㎡ 駐車場 144台                  〈主要施設〉 常設展示室、企画展示室、石元泰博展示室、県民ギャラリー、講義室、創作室、ミュージアムショップ、レストラン、美術館ホール(399席)など                  〈開館時間〉 午前9時～午後5時(ホール、リハーサル室及び楽屋は午前9時～午後10時)                  〈休館日〉 12月27日～1月1日                  〈主な料金〉 常設展 一般400円・大学生280円                  ※高校生以下、高知県長寿手帳(65歳以上)、身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、戦傷病者手帳、被爆者健康手帳を所持する者と介護又は介助者1名、高知市長寿手帳を所持する者は無料                  施設利用料 県民ギャラリー24,470円(1日)、企画展示室61,200円(1日) ホール41,570円～105,820円(1日)</p>		
職員体制	常勤職員: 14人 契約職員: 12人 非常勤: 1人 合計: 27人		

※職員数は令和6年4月1日現在 ※利用料金は令和7年4月1日現在

## 2 収支の状況

単位:千円

		令和5年度(決算)	令和6年度(決算)	令和7年度(予算)
収入	県支出金	344,254	369,519	384,113
	事業収入	55,185	40,815	71,700
	その他	79,864	35,640	33,551
	収入計	479,303	445,974	489,364
支出	事業費	476,487	450,652	489,364
	(うち人件費)	(126,064)	(153,688)	(153,456)
	その他	2,816	0	0
	支出計	479,303	450,652	489,364
収支差額(a)－(b)		0	-4,678	0

## 3 利用状況

		令和5年度(実績)		令和6年度(実績)		前年度比較
① 年間利用者数 合計 (単位:人)	常設展	7,199人	常設展	5,465人		－ 1,734人
	企画展	186,960人	企画展	20,017人		－ 166,943人
	美術館ホール	5,454人	美術館ホール	2,848人		－ 2,606人
	小計	199,613人	小計	28,330人		－ 171,283人
	貸館	25,344人	貸館	20,267人		－ 5,077人
	貸館(ホール)	27,681人	貸館(ホール)	31,118人		＋ 3,437人
	県民ギャラリー	59,469人	県民ギャラリー	51,421人		－ 8,048人
	小計	112,494人	小計	102,806人		－ 9,688人
	その他事業	14,609人	その他事業	12,605人		－ 2,004人
	合計	326,716人	合計	143,741人		－ 182,975人

	<p>○ 利用者アンケート等の実施状況(時期・方法・回答数・調査結果等)</p> <p>時期:令和6年4月1日～令和7年4月13日          方法:企画展…受付にてアンケートの手渡し、QRコードの併用          ホール事業…会場入り口にてアンケート手渡し。          回答数:3,264枚(回収率12.7%)          調査結果:「とてもよかった」、「よかった」と答える人が大多数で、来館者からの満足度は高い。</p>
② 利用者意見等の反映	<p>○ 利用者意見等を踏まえた対策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホール事業で初めて導入したU30チケットがアンケートで好評であったため、その後も継続して導入した。</li> <li>・展覧会場で観覧順路、特にパネルの裏側に回る順路が分かりにくいとの意見に対して、矢印をつけた。</li> <li>・週末のギャラリートークにおいて「人が多く聞き取りにくかった」との意見を受けて平日にも開催した。</li> <li>・1F男子トイレが「トイレ入り口から中が見通せる」との意見に対して衝立を設置した。</li> <li>・トイレ個室の荷物かけフックの要望があり、新たに設置した。</li> </ul>
③ その他特記事項	

4 年度業務評価

項 目	状 況 説 明
①適正な管理運営の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建物、設備の管理については、適宜修繕を行い、観覧者の安全性や快適性を保つ等、適切な管理運営が遂行されている。</li> <li>・高知県立美術館の設置及び管理に関する条例や基本協定書、仕様書及び事業計画に基づく適正な運営管理が実施されている。</li> <li>・危機管理マニュアルを作成し、定期的な訓練が実施されている。</li> </ul>
②利用者サービスの維持向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者アンケートで指摘された事項について、すぐに改善が出来ている。また、サービス部会による利用者サービス向上の取組が出来ている。</li> <li>・企画事業課、学芸課ともに各種研修会に積極的に参加するなど、職員の専門性の向上が展示内容の充実へ繋がっている。</li> <li>・企画展やホール事業に関連したワークショップやイベントを開催し、芸術に触れる機会の創出に取り組んでいる。</li> </ul>
③利用実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・常設展、企画展の合計観覧者数は25,482人で、第5期指定管理期間の要求水準を達成出来ていないものの、様々なジャンルの企画展の開催や高知県出身の顕彰作家を紹介するコレクション展を開催するなど、意義深い展示が出来ている。</li> <li>・「出前びじゅつ講座」や学校団体受け入れ等の教育普及事業で、43校(延べ人数1,591人)に対応することが出来ている。</li> </ul>
④収支の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適切な会計処理ができています。</li> <li>・経費削減に努めているものの、支出においてマイナスが出ているため来年度以降の改善に期待する。</li> </ul>
総合評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県内外の美術館と積極的な交流を図ることで、他館と連携した企画展やホール事業を開催することが出来ており、質の高い芸術に触れる機会の創出が認められる。</li> <li>・第5期指定管理期間の利用者に関する要求水準「年間観覧者数30,000人、総利用者数15万人」に対し「年間観覧者数25,482人、総利用者数143,741人」であった。今後の集客力向上に期待する。</li> <li>・職員が意見を出し合い、サービス向上のための改善や広報の工夫を行っていることが認められる。</li> </ul> <p>以上のことから、おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたものと認められる。</p> <p style="text-align: center;">B</p>

【評価の目安】

- A:仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
- B:おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの
- C:仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの
- D:管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの